

事業番号	05 05 13	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域保健関係職員研修事業				担当課	部局	健康福祉部	
						課・室	健康増進課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	kenko-zoshin@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 1 保健活動の推進			実施期間	S51 ~		

1 事業の概要

目指す姿	健康増進法に基づき、県民の健康づくりを推進するため、管理栄養士、保健師等の保健専門職員を対象に研修会を開催し、時代に応じた専門的・地域保健行政の展開ができるよう資質の向上を図る。 また、県民の健康づくりに関する取組の成果を発表、討議する場を設け、各種保健事業を一体的に行う環境づくりをすすめることで、「信州保健医療総合計画」の総合的、効果的な推進を図る。			
現状	<ul style="list-style-type: none"> 管理栄養士、保健師等による保健指導技術においては、常に最新の知識を必要とすることから、研修会において知識を習得し、県民に対して効果的な健康づくりを行う必要がある。 信州保健医療総合計画、食育推進計画及び市町村健康増進計画の推進のため、保健福祉事務所健康づくり担当者を国立保健医療科学院研修へ派遣し、資質向上を図っている。 健康づくり研究討論会は、市町村等保健関係職員が他の関係機関の健康づくりに関する取組を知る貴重な場となっている。 			
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 ・健康増進法第3条及び第19条の3、・「健康日本21(第2次)」及び信州保健医療総合計画、・感染症予防事業費等国庫負担(補助)金交付要綱、・医療費適正化に関する施策についての基本的な方針の全部を改正する告示(厚生労働省告示平成24年9月28日)「特定健康診査等に携わる人材育成のための研修実施」		
事業内容	① 成果目標(H27) 健康づくり研究討論会における発表演題20題以上			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H27実施内容	H27 (当初) H27 (決算) H28 (当初)
	地域保健関係職員研修会	直接	・市町村管理栄養士等研修会 各保健福祉事務所 6回/年 ・新任行政栄養士研修会 1回/年 ・中央研修会等派遣(国立保健医療科学院「健康・栄養調査の企画・運営・評価に関する研修」等)	1,349 901 1,350
	特定保健指導人材育成事業	直接	・国立保健医療科学院派遣 研修計画編2名、事業評価編1名 ・健康増進課で主催する研修 基礎編1回、計画評価編又は広域事業評価編1回	172 43 172
	健康づくり研究討論会	直接	市町村・保健福祉事務所・教育委員会、産業保健、母子保健等健康づくり関係者による健康づくりに関する研究討論会 1回/年	137 100 137
パソコン・プリンターリース	直接	健康増進課で使用するパソコン(6台)とプリンタ(1台)のリース料	148 104 155	
国庫返還金	-	平成26年度感染症予防事業費等国庫負担(補助)金返還金	300	
		合計	1,806 1,448 1,814	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	1,489	1,655	1,806	1,814
	補正予算		419	300	
	合計(A)	1,489	2,074	2,106	1,814
	国庫支出金	746	829	978	985
	県債				
	その他()			300	
	一般財源	743	826	828	829
	決算額(B)	762	1,513	1,448	
概算職員数(人)	2.00	2.00	3.30	3.30	
概算人件費	16,516	16,516	27,311	27,311	
概算事業費(B(A)+C)	17,278	18,029	28,759	29,125	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
健康づくり研究討論会の発表議題数	20題	演題20題以上	演題20題	達成	演題20題以上

目標に対する成果の状況	健康づくり研究討論会については、地域保健従事者(県・市町村職員、医療・保健関係者、NPO、大学等)が参加し、多様な職種や職域の参加者により複数のテーマについての研究発表・討論が行われ、職種間の情報共有や今後の地域での取組や研究の推進につながるものとなった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 健康づくり研究討論会は、地域保健従事者の日頃の取組や研究成果を発表する重要な機会であるとともに、多職種連携や地域内連携の取組や職員等の資質の向上につながるため、引き続き実施する。
--------------------	--